

野木町煉瓦窯、渡良瀬遊水地・谷中湖

「恋人の聖地」認定

2人の愛がっちり

【野木】野木の国指定重要文化財「野木町煉瓦窯」とラムサール条約登録湿地「渡良瀬遊水地」の「谷中湖」が31日、「野木町煉瓦窯&ハート池」の名称でNPO法人地域活性化支援センターが認定する「恋人の聖地」に選ばれた。同日、都内で開かれた「恋人の聖地銘板授与式」に真瀬宏子町長ら関係者が出席。真瀬町長は「ハート池と煉瓦窯を見ながら、ゆつくりと時を過ごしていただければ、2人の愛はれんがのようにがっちり強くなるのではないか。これを起爆剤として若者はもちろん、たくさんの人に来ていただけるようアイデアを出したい」と意気込んでいる。

(小野裕美子、大貫葉伊子)

同法人は2006年から全国の観光地域の中からプロポーズにふさわしいロマンチックなスポットを「恋人の聖地」として選定。地域の新たな魅力づくりや、地域間の連携による活性化

を図っている。恋人の聖地は現在、国内139カ所を認定。県内では那須町の那須高原展望台と那須塩原市のみみじ谷大吊橋、足利市の足利織姫神社に次いで4カ所目。同煉瓦窯はドイツ人技師が考案した「ホフマン式輪窯」で、国内に現存する中で最も古く、唯一完全な形で残っているのが特徴。1890年から約80年間、隣接する遊水地の粘土などを



恋人の聖地に認定された野木町煉瓦窯



銘板を受け取る真瀬町長（左から2人目）

原料にれんがを生産した。120年以上、原型をとどめて保存されている堅固な姿が「カップルの関係が長く続くこと」を暗示している点が評価され、ハート形の谷中湖へレンタサイクルを利用して自然に親しむデートを推奨している。